

はじめの一步

鮫洲曙町会から



「三月二十八日」。

大袈裟に言えば、町内に所在する「公立大学法人首都大学東京 東京都立産業技術専門学校 体育館」が当町会の学校避難場所として、実質的な第一歩を踏み出した日となります。

それは、町内の有志ではありませんが、初めて、この体育館に集合し、避難場所として見学出来た日だからです。

平成十年に、当町会の要請に基づき、品川区と都立工業専門学校とで協定を結び、正

規の学校避難場所として認定を受けました。

しかしその後、学校の建て替え、運営形態の変更（都立から公立大学法人化へ）などから実質的な避難計画の策定・訓練等が行われず現在に至りました。

昨今の地震等、住民の方々の安全への関心の高まりに対応するため、再度原点に還り交渉を行いました。

区と都、区と法人など行政区分の問題が一部障害とはなっていますが、品川区防災担当の方のご支援のもと、ようやく前に進み始めました。

学校との避難計画の策定、物資の備蓄、避難設備等々、これからやるべきことは、山ほどありますが、安心できる町を目指して、前進したいと思います。

親睦の日帰りバスの旅

北浜川仲町会から



昨年二十数年ぶりに復活した、日帰りバス旅行が、本年も女性部の企画運営で、三月二十九日に静岡県伊東市の大室山さくらの里へ、お花見を楽しみました。

参加者は老若男女合わせ三十九名、午前七時に、競

馬場通り石原商店前を出発。

当日は好天氣に恵まれ、交通渋滞もなく、順調に大室山さくらの里に着きました。

現地では約一時間、自由散策で楽しい時間を過ごしました。昼食は伊東温泉・ホテルニュー岡部で、昼食御膳と、温泉入浴。露天風呂もあり、ゆっくりとひと時を楽しみました。

帰りのバスの中ではビンゴゲームで、女性部の心づくしで用意された豪華商品に一喜一憂と、参加者全員に賞品が当たる気の使い方に、感謝。

参加者全員が大変満足して夕方無事出発地に帰ってききました。

町会行事として復活した日帰りバス旅行が毎年恒例に実施されることを期待します。